

滋賀高月事業場で自己託送制度を活用した太陽光発電を開始 CO₂排出量を年間約500トン削減

日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市、社長：岸本暁、以下NEG）は、滋賀高月事業場（滋賀県長浜市）の敷地外に太陽光発電設備を新たに設置し、2026年2月1日より稼働を開始しました。発電した電力は、自己託送制度※を活用し、同事業場へ供給されます。

本設備の年間発電電力量は約1,200MWhで、一般家庭約300世帯分の消費電力に相当します。これにより、年間約500トンのCO₂排出量削減が見込まれます。

※自己託送制度とは、発電設備や蓄電池等を保有する事業者が、自ら発電・放電した電力を、一般送配電事業者が維持・運用する送配電ネットワークを通じて、自社の別拠点（工場や事業場等）へ送電する仕組みのこと



■導入の背景と今後の取り組み

当社は、2050年までのカーボンニュートラル達成を目指し、国内外の拠点でCO₂排出量削減に取り組んでいます。

滋賀高月事業場では、2023年4月から太陽光発電設備を本格稼働させており、今回の導入は、再生可能エネルギーの自社利用拡大の一環です。自己託送制度を活用し、敷地外で発電した電力を同事業場へ供給します。

当社は今後も、再生可能エネルギーの活用を推進してまいります。

【関連プレスリリース】

滋賀高月事業場でメガソーラーシステムの稼働を開始（2023年3月30日）

<https://www.neg.co.jp/news/20230330-6568.html>

■太陽光発電設備の概要

- ・設置場所：滋賀県長浜市高月町柏原（滋賀高月事業場から1.6km）
- ・年間発電電力量：約1,200MWh
- ・年間CO₂排出削減量予測：約500t-CO₂
- ・発電開始：2026年2月

【関連サイト】

気候変動への対応

<https://www.neg.co.jp/sustainability/environment/climate/>

【会社概要】

日本電気硝子株式会社は、滋賀県大津市に本社を置く、世界トップクラスの特殊ガラスメーカーです。新たな機能を生み出す特殊ガラスは、板や管、糸、粉末などさまざまな製品に姿を変え、半導体やディスプレイ、自動車、電子機器、医療、エネルギーなど多岐にわたる分野で活躍しています。当社が70年以上の歴史の中で磨き上げてきた技術と実績により開発された特殊ガラスは、暮らしのあたりまえから産業の最先端まで、幅広い分野で高い評価を受けています。

会社名：日本電気硝子株式会社

代表者：社長 岸本 晓

本社所在地：滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号

創立：1949年12月1日

事業内容：特殊ガラス製品の製造・販売およびガラス製造機械の製作・販売

URL：<https://www.neg.co.jp/>

以上

日本電気硝子株式会社 〒520-8639 滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号

《リリース内容に関するお問い合わせ》

コーポレートコミュニケーション部 広報担当 電話：077-537-1702（ダイヤルイン）